

第437号 2017年11月16日  
弘前大学総務部総務広報課

イベントのお知らせ

「子どもの貧困」について考える連続企画のお知らせ

【企画趣旨】

平成26年に子どもの貧困対策推進法が施行され、平成28年3月には青森県子どもの貧困対策推進計画が策定されるなど、今、「子どもの貧困」への対応が、社会的に大きな課題として認識されています。この度、青森県において「子どもの貧困」対策に関わる、行政、学校関係者、福祉関係者、地域の方々が一堂に会して、青森県の施策や子どもたちの実情を知り、支援についてともに考える場として、下記の連続企画を行います。

1. “見えない「子どもの貧困」を考える” 共同学習会

日時 11月24日（金）13：30～15：50  
場所 アピオあおもり イベントホール  
（〒030-0822 青森市中央3丁目17番1号）  
内容 「子どもの貧困」に関わる青森県の施策について、県健康福祉部こどもみらい課、県教育庁学校教育課および生涯学習課からお話しいただくとともに、実際に、子どもたちの支援に関わるスクールソーシャルワーカー、地域の学習支援者から支援の現状を語っていただきます。

2. 「子どもの貧困」への支援を考える  
—教育と福祉の出会いとところ—

日時 12月9日（土）13：30～16：30  
場所 弘前大学教育学部 2階大教室  
（〒036-8560 弘前市文京町1番地）  
内容 地域・学校・自治体の協働が進む宮城県の先進事例について門馬優さんの講演をお聞きした上で、小・中・高校の先生方、スクールソーシャルワーカー、地域の学習支援関係者に登壇していただき、青森県における支援について考えるシンポジウムを行います。

両企画共通

対象：学校関係者、福祉関係者、一般市民 入場無料、事前申し込み不要  
主催：弘前大学「子どもの貧困」をめぐる地域・学校・自治体の連携・協働推進プロジェクト（事業代表：吉田美穂・弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻（教職大学院））  
共催：弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻（教職大学院）  
後援：青森県、青森県教育委員会、弘前市教育委員会、青森県社会福祉協議会  
お問い合わせ先：弘前大学教職大学院准教授 吉田美穂  
電話 0172-39-3398 Email [m-yoshida@hirosaki-u.ac.jp](mailto:m-yoshida@hirosaki-u.ac.jp)



共同学習会  
**見えない「子どもの貧困」を考える**  
2017年11月24日（金）13:30～15:50  
アピオあおもり イベントホール  
〒030-0822 青森市中央3丁目17番1号 電話番号 0172-339-1010  
入場無料(事前申込不要) 対象:教育関係者、福祉関係者、一般市民  
主催 弘前大学「子どもの貧困」をめぐる地域・学校・自治体の連携・協働推進プロジェクト  
代表者 吉田美穂(弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻(教職大学院))  
共催 弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻(教職大学院)  
後援 青森県、青森県教育委員会、弘前市教育委員会、青森県社会福祉協議会  
問合せ先 吉田美穂(電話番号 0172-339-3398) [m-yoshida@hirosaki-u.ac.jp](mailto:m-yoshida@hirosaki-u.ac.jp)

「子どもの貧困」への支援を考える  
—教育と福祉の出会いとところ—



講演「地域・学校・自治体の連携による包括的子ども支援」  
講師 NPO法人TEDIC 代表理事 門馬優  
シンポジウム「青森県における「子どもの貧困」と支援を考える」  
報告 弘前市立数道小学校校長 多田健樹  
弘前市立南中学校校長 大庭実智  
青森県立弘前高等学校校長 工藤清康  
青森県立北上総合高等学校スクールソーシャルワーカー 三上麗子  
特別協力 弘前大学教育学部 教育学部 教育学部 教育学部  
2017年12月9日(土)13:30～16:30  
弘前大学教育学部 2階大教室  
〒036-8560 弘前市文京町1番地  
入場無料(事前申込不要) 対象:教育関係者、福祉関係者、一般市民  
主催 弘前大学「子どもの貧困」をめぐる地域・学校・自治体の連携・協働推進プロジェクト  
代表者 吉田美穂(弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻(教職大学院))  
共催 弘前大学大学院教育学研究科教職実践専攻(教職大学院)  
後援 青森県、青森県教育委員会、弘前市教育委員会、青森県社会福祉協議会  
問合せ先 吉田美穂(電話番号 0172-339-3398) [m-yoshida@hirosaki-u.ac.jp](mailto:m-yoshida@hirosaki-u.ac.jp)

## 「シンポジウム 裁判員裁判を地域に根づかせるために」のお知らせ

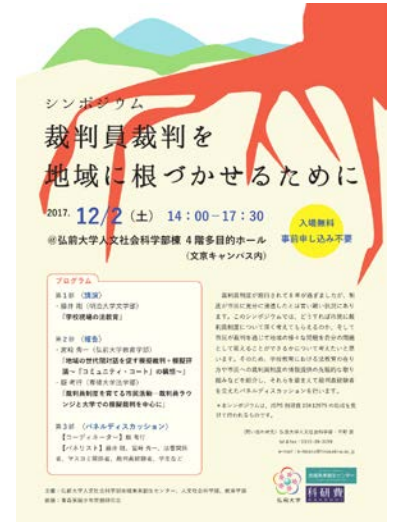
裁判員制度が施行されて8年が過ぎましたが、制度が市民に十分に浸透したとは言い難い状況にあります。このシンポジウムでは、どうすれば市民に裁判員制度について深く考えてもらえるのか、そして市民が裁判を通じて地域の様々な問題を自分の問題として捉えることができるかについて考えたいと思います。そのため、学校教育における法教育の在り方や市民への裁判員制度の情報提供の先駆的な取り組みなどを紹介し、それらを踏まえて裁判員経験者を交えたパネルディスカッションを行います。

1. 日 時 : 2017年12月2日(土) 14:00~17:30
2. 場 所 : 弘前大学人文社会科学部棟4階多目的ホール
3. 対 象 : 本学教職員、学生、一般の方等どなたでも(参加無料)  
※事前申し込みは不要です。

### 4. 内 容 :

- 第1部 講演**  
 藤井 剛(明治大学文学部教授)  
 「学校現場の法教育」
- 第2部 報告**  
 宮崎 秀一(弘前大学教育学部教授)  
 「地域の世代間対話を促す模擬裁判+模擬評議～『コミュニティ・コート』の構想～」  
 飯 考行(専修大学法学部教授)  
 「裁判員制度を育てる市民活動—裁判員ラウンジと大学での模擬裁判を中心に」
- 第3部 パネルディスカッション**  
 コーディネーター: 飯 考行  
 パネリスト: 藤井 剛, 宮崎 秀一, 法曹関係者, マスコミ関係者, 裁判員経験者, 学生など
5. 主 催 : 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター  
弘前大学人文社会科学部・教育学部
  - 後 援 : 青森家庭少年問題研究会

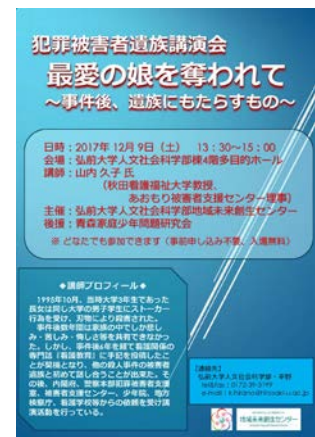
問い合わせ先 : 弘前大学人文社会科学部 平野 潔  
 電 話 : 0172-39-3199  
 E-mail : [k-hirano@hirosaki-u.ac.jp](mailto:k-hirano@hirosaki-u.ac.jp)



## 犯罪被害者遺族講演会

### 「最愛の娘を奪われて ～事件後、遺族にもたらずもの～」のお知らせ

1. 日 時 : 2017年12月9日(土) 13:30~15:00
2. 場 所 : 弘前大学人文社会科学部棟4階多目的ホール
3. 対 象 : 本学教職員、学生、一般の方等どなたでも(参加無料)  
※事前申し込みは不要です。



4. 講師：山内 久子 氏  
(秋田看護福祉大学教授，あおもり被害者支援センター理事)

◆講師プロフィール◆

1995年10月，当時大学3年生であった長女は同じ大学の男子学生にストーカー行為を受け，刃物により殺害された。

事件後数年間は家族の中でしか悲しみ・苦しみ・悔しさ等を共有できなかった。しかし，事件後6年を経て看護関係の専門誌『看護教育』に手記を投稿したことが契機となり，他の殺人事件の被害者遺族と初めて話し合うことが出来た。その後，内閣府，警察本部犯罪被害者支援室，被害者支援センター，少年院，地方検察庁，看護学校等からの依頼を受け講演活動を行っている。

5. 主催：弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター  
後援：青森家庭少年問題研究会

問い合わせ先：弘前大学人文社会科学部 平野 潔  
電話：0172-39-3199 E-mail：[k-hirano@hirosaki-u.ac.jp](mailto:k-hirano@hirosaki-u.ac.jp)

弘前大学白神自然環境研究所シンポジウム  
「未来へつなぐ～津軽半島の豊かな自然～」開催のお知らせ

- 日時：2017年12月11日（月）  
17時00分～19時30分（開場16時30分）
- 会場：つがる市生涯学習交流センター「松の館」交流ホール  
※会場への無料送迎バスを準備しております（先着50名）。  
ご希望の方は，15時30分までに弘前大学正門前にお越しください。  
15時30分に出発しますので，時間に余裕を持ってお越し願います。  
なお，シンポジウム終了後，弘前大学への到着時刻は20時45分頃の予定です。
- 対象：本学教職員，学生，一般の方 ※事前申込は不要です。
- 要旨：

つがる市の湖沼群において，環境省が定める絶滅危惧IA類に指定された希少な水生植物「ガシャモク」が，新潟大学教育学部と弘前大学白神自然環境研究所，津軽植物の会の合同チームの調査によって確認されました。現存する自然個体群は，福岡県北九州市の一湖沼に次いで2例目であり，これまでの国内の北限とされていた場所を500km以上更新する新産地の発見となります。

この発見と津軽半島の豊かな自然環境を広く皆様にご紹介いただく為に，公開シンポジウムを開催いたします。講師には，第一発見者である 首藤光太郎 研究員（新潟大学），現存するガシャモク個体群がある北九州市において保全活動に関わる 真鍋徹 学芸員（北九州市いのちのたび博物館）の他，齊藤信夫 氏（青森自然環境研究会），石戸谷芳子 氏（津軽植物の会），中村剛之 准教授（弘前大学）の講演を予定しています。



5. 主催：弘前大学白神自然環境研究所，新潟大学教育学部，環境研究総合推進費4-1705「湿地の多面的価値評価軸の開発と広域評価に向けた情報基盤形成」研究チーム

6. 後援：環境省東北地方環境事務所，青森県，つがる市，津軽植物の会，青森県自然環境研究会

7. お問い合わせ先：

弘前大学白神自然環境研究所 山岸

電話・FAX：0172-39-3706

e-mail：[hyama@hirosaki-u.ac.jp](mailto:hyama@hirosaki-u.ac.jp)

詳細は当研究所HPをご覧ください。

<http://www.hirosaki-u.ac.jp/shirakami/>

## 大学院保健学研究科 第50回生体応答科学研究セミナー開催のお知らせ

大学院保健学研究科生体応答科学研究センターでは，第50回生体応答科学研究セミナーを下記のとおり開催いたします。

今回は，米国の研究所で活躍されている秋山琢也先生を講師にお招きし，de novo突然変異による病気の発症の新しい遺伝学的コンセプトについてご講演いただきます。

最新の遺伝子学研究に関心がある方，海外での研究活動に興味がある方は是非お気軽にご参加ください。

多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 平成29年12月12日（火）18：00～19：00

2. 場 所： 弘前大学大学院保健学研究科 F棟1階  
大学院講義室1（弘前市本町66-1）

3. タイトル： 「ショウジョウバエから学ぶ新しい遺伝学：  
de novo突然変異が生物に及ぼす影響」

4. 講 師： 秋山 琢也 氏 (Senior Research Associate)  
Stowers Institute for Medical Research (Kansas City USA)

5. 対 象： 教職員，大学院生，学部学生等

6. その他： 参加費無料，事前申し込み不要

7. 主 催： 弘前大学大学院保健学研究科 生体応答科学研究センター

【お問い合わせ先】 弘前大学保健学研究科 生体応答科学研究センター事務局（担当：浅利）  
電話：0172-39-5454 FAX：0172-39-5912  
E-mail：[rcbs2016@hirosaki-u.ac.jp](mailto:rcbs2016@hirosaki-u.ac.jp)

第50回  
生体応答科学研究セミナー

2017.12.12 (火) 18:00~19:00  
保健学研究科 F棟1階 大学院講義室1  
対象：学部学生，大学院生，教職員（参加費無料，事前申し込み不要）

講師 秋山 琢也 氏  
Senior Research Associate  
Stowers Institute for Medical Research  
(Kansas City, USA)

講演 「ショウジョウバエから学ぶ新しい遺伝学：  
de novo突然変異が生物に及ぼす影響」

1. ゲノム改変技術を用いたde novo突然変異を時空間的に誘導する遺伝学的システム
2. 親由来の劣性突然変異、de novo劣性突然変異がショウジョウバエ発生に及ぼす影響の違い
3. 個体レベルの遺伝学 vs. 細胞レベルの遺伝学

皆様と楽しく議論しながら、de novo突然変異による病気の発症の新しい遺伝学的コンセプト、アメリカでの研究生活を紹介します！

※ 参考：Akiyama, T. et al. Nature 2015, 527: 375-378. WIREs Developmental Biology 2015, 4(2): 99-112. Science Signaling 2012, 5(218): ra28など

※ 上 催：弘前大学大学院保健学研究科生体応答科学研究センター  
※ 連絡先：保健学研究科 生体応答科学研究センター事務局  
0172-39-5454 [rcbs2016@hirosaki-u.ac.jp](mailto:rcbs2016@hirosaki-u.ac.jp)



**北日本新エネルギー研究所 新エネルギーフォーラム**  
**『北方圏の「省エネ+創エネ」技術の展開連続セミナー in青森**  
**～ 風とエネルギーのまちづくり ～』のお知らせ**

日本国内の風力発電は、風車の設置基数で北海道、設備容量で青森県が各々一位を保有しており、比較的古くから風力発電を実用化してきた歴史がある。しかしながら海外の風力発電の成長スピードと比べると日本のエネルギーにおける風力の役割は小さく、今後の促進には北海道と青森県の果たすべき役割は大きいと言えます。

そこで、本セミナーでは、北方圏における創エネ技術の雄である風力をとりあげ、その歴史から、地域とのかかわり、課題、今後の展望に関して広く意見交換を通じて、みなさまの理解を深めていきたいと思っております。ぜひお気軽にご参加ください。



- 【日 時】平成29年12月14日(木) 14:00～17:00
- 【場 所】青森県水産ビル (〒030-0803 青森市安方一丁目1-32)
- 【定 員】100名
- 【参加費】無料
- 【対 象】一般市民，技術者，公務員，研究者など
- 【主 催】弘前大学北日本新エネルギー研究所，東北工業大学，北海道科学大学
- 【後 援】青森県，青森市，弘前市，(一社)青森県建築士会，(一社)青森県建設業協会，北海道科学大学同窓会青森支部，東北工業大学同窓会青森県支部
- 【申込み】12月7日(木)までに，電話またはメールにてお申込みください。  
 →北海道科学大学教育研究推進課 TEL:011-688-2241 E-mail:[kenkyu@hus.ac.jp](mailto:kenkyu@hus.ac.jp)
- 【問合せ先】弘前大学北日本新エネルギー研究所 総務グループ 石岡，工藤  
 TEL: 017-735-3363 E-mail: [njne@hirosaki-u.ac.jp](mailto:njne@hirosaki-u.ac.jp)
- 【プログラム】

開会挨拶	弘前大学北日本新エネルギー研究所・所長 村岡 洋文	14:00～
特別講演	世界の風力発電の状況と東北・北海道の風力発電の展望 足利工業大学・理事長 牛山 泉 氏	14:05～
	休 憩 (10分)	
講演①	北海道における風力エネルギー 北海道科学大学都市環境学科・教授 白石 悟	14:55～
講演②	宮城県における風力エネルギー 東北工業大学環境エネルギー学科・助教 野澤 壽一	15:25～
講演③	青森県における風力エネルギー 弘前大学北日本新エネルギー研究所・教授 本田明 弘	15:55～
講演④	洋上風力と漁業協調 弘前大学北日本新エネルギー研究所・教授 桐原慎 二	16:25～
閉会挨拶	東北工業大学・副学長 石川善美	16:55～

**医工連携セミナー 医用システム開発に向けた応力計測技術講習会  
—触覚センシングの概説とデモンストレーション—のご案内**

弘前大学大学院理工学研究科附属医用システム創造フロンティアでは、医工連携で取り組んでいる医用システム開発のための要素技術を紹介するセミナーを開催します。本セミナーは、研究者、企業技術者、および今後医用機器産業への展開を考えている企業様の企画や技術担当の方、並びに学生を対象としています。是非、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

1. 日時 平成29年12月21日（木） 12:30～14:30
2. 場所 ねぶたの家 ワ・ラッセ 交流学習室(1)  
(〒030-0803 青森県青森市安方1-1-1)
3. 主催 弘前大学大学院理工学研究科附属医用システム創造フロンティア  
共催 ひろさき産学官連携フォーラム・医工連携研究会  
日本材料学会理事会企画
4. セミナー  
12:10～12:30 受付  
12:30～12:35 「医用システム開発の近況紹介」  
弘前大学大学院理工学研究科・教授・センター長 笹川和彦  
12:35～13:25 触覚センシングの概説  
弘前大学大学院理工学研究科・教授・センター長 笹川和彦  
13:35～14:20 センシングシステムの概説とデモンストレーション  
弘前大学大学院理工学研究科・准教授 藤崎 和弘  
14:20～14:30 「医用システム創造フロンティアが提供する勉強会と研究へのお誘い」  
弘前大学大学院理工学研究科・教授・センター長 笹川和彦
5. 参加費 無料
6. 参加申込および本件連絡先  
申し込みは必須ではありませんが、できれば事前に申し込みをしていただけますと幸いです

弘前大学理工学研究科 附属医用システム創造フロンティア

担当：事務局 杉本 尚子 電話：0172-39-3684 e-mail：[suginao@hirosaki-u.ac.jp](mailto:suginao@hirosaki-u.ac.jp)

(参加申し込みは下記URLからWordファイルをダウンロードの上、必要事項を記載してメールにて送付ください。URL：<http://www.hirosaki-u.ac.jp/30155.html>)

申し込み期限：12月8日（金）

**保健学研究科 被ばく医療人材育成推進委員会  
放射線リスクコミュニケーション教育部門講演会  
「リスクコミュニケーション概論：放射線リスクの伝え方」開催のお知らせ**

保健学研究科被ばく医療人材育成推進委員会 放射線リスクコミュニケーション教育部門では、リスクコミュニケーション、特に放射線リスクの伝え方を考えることを目的として、表題の講演会を下記のとおり開催いたします。

リスクコミュニケーションに関心がある方、放射線のリスクを説明する機会のある方、将来的には機会があるかも知れないという方、福島で支援を行っている方は是非お気軽にご参加ください。多数の皆様のご参加をお待ちしております。

1. 日 時： 平成29年12月21日（木）  
17時50分～19時30分（質疑応答含む）
2. 場 所： 弘前大学大学院保健学研究科 F棟1階 大学院講義室1（弘前市本町66-1）

3. タイトル： 「リスクコミュニケーション概論：放射線リスクの伝え方」

4. 講師： 小野田 眞 氏  
(国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構  
放射線医学総合研究所)

5. 対象： 教職員，大学院生，学部学生等

6. 参加費： 無料

7. 主催： 弘前大学大学院保健学研究科  
被ばく医療人材育成推進委員会  
放射線リスクコミュニケーション教育部門

【お問い合わせ先】 弘前大学保健学研究科  
総務グループ（担当：桑田）  
電話：0172-39-5518 FAX：0172-39-5912  
E-mail：[kuwata@hirosaki-u.ac.jp](mailto:kuwata@hirosaki-u.ac.jp)



### 「世界糖尿病デー in 弘前」のお知らせ（再掲）

11月14日は国連により公式認定されている「世界糖尿病デー」です。世界各地で糖尿病の予防，治療，療養を喚起する様々なイベントが開催されています。我が国でも全国各地で観光施設や著名な建造物がブルーにライトアップされます。

弘前市では、「青森銀行記念館のブルーライトアップ」を行います。また，週末にはヒロロ内弘前市民文化交流館にて「弘前公開糖尿病教室」を行います。

どなたでもご参加いただけます。ぜひこの機会にご自身やご家族，大切な人と一緒に糖尿病について考えてみませんか？

#### 【日程】

◎2017年11月14日（火）17時～2017年11月18日（土）  
世界糖尿病デー ブルーライトアップ  
場所：青森銀行記念館（旧第五十九銀行本店本館）（弘前市元長町26）  
点灯式：2017年11月14日（火）17時  
写真撮影：①2017年11月14日（火）点灯式後  
②2017年11月18日（土）17時頃  
（弘前公開糖尿病教室終了後）

写真撮影にはたか丸くんも参加します。  
また，両日とも，写真撮影参加者先着50名様に記念品を差し上げます。

◎2017年11月18日（土）14：00～16：00（受付 13：30～）

#### 第22回 弘前公開糖尿病教室

場所：ヒロロ内 弘前市民文化交流ホール 建物4階  
（弘前市駅前町9～20）

（プログラム）

14：00～15：00

座長：弘前大学医学部附属病院 内分泌内科・糖尿病代謝内科 講師 柳町 幸 先生

【講演1】 糖尿病と膵臓

弘前市立病院 内分泌代謝科 科長 松本 敦史 先生

【講演2】 弘前市で開始されている糖尿病性腎症重症化予防プログラムについて

今村クリニック 院長 今村 憲市 先生

15：00～15：10 休憩

**世界糖尿病デー in 弘前**  
ブルーライトアップ 11月14日(火)～18(土)  
点灯式：11月14日(火)17時頃  
写真撮影：①11月14日点灯式後  
②11月18日(土)17時頃  
(ヒロロで開催される弘前公開糖尿病教室終了後)

場所：青森銀行記念館(旧第五十九銀行本店本館)  
弘前市元長町26

主催：弘前大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科学講座  
後援：青森県糖尿病協会

写真撮影には  
ほくも参加するよ！  
記念品を準備して  
待ってるね！

平成28年11月19日 青森銀行記念館前にて

どなたでもご参加いただけます。参加申込不要  
糖尿病について一緒に考えてみませんか？ 記念品：各日先着50名様

連絡先：弘前大学大学院医学研究科 内分泌代謝内科 担当(柳町)  
TEL: 0172-39-5052 FAX: 0172-39-5053 E-mail: [yanagi@hirosaki-u.ac.jp](mailto:yanagi@hirosaki-u.ac.jp)

15:10～15:40

座長：今村クリニック 院長 今村 憲市 先生

【講演3】 メディカル・アートで学ぶ肥満症と糖尿病

黒石国民健康保健黒石病院 糖尿病・内分泌内科 部長 上原 修 先生

ヒロロ会場内では、血糖測定・糖尿病相談コーナーを設けています。

**北方圏の超高齢社会創生セミナーin弘前開催のお知らせ**  
**テーマ「活力有る超高齢社会を創造していくための方策」(再掲)**

我が国では、後期高齢者が急激に増加する2025年問題、国内人口が急激に減少する2035年問題に起きると予測されています。そこで、高齢者・障がい者が、地域社会のなかで可能な限り自立した日常生活活動(ADL)を送れるような支援により生活の質(QOL)を高めると同時に、家族と社会の負担を軽減するために、本セミナーでは活力ある超高齢社会を創造していくための方策を考えてみたいと思います。



【講演】『日常生活支援のための福祉・リハビリテーション工学』  
～転倒防止の知識と技術・トレーニングの実際～

北海道科学大学 北の高齢社会アクティブライフ研究所  
所長 田中敏明

『高齢者との傾聴を用いた対話』

弘前大学大学院保健学研究科 助教 田中真

【日時】平成29年11月17日(金) 16:00～18:00

【場所】弘前大学保健学研究科 第63講義室(弘前市本町66-1)

【対象】研究者・学生・一般市民・技術者・公務員

【主催】弘前大学保健学研究科/北海道科学大学

【後援】青森県, 弘前市, 北海道科学大学同窓会青森支部

**平成29年度地域未来創生センター・東北6県合同研究フォーラム**  
**民俗資料の「発見」と新たな「活用」の可能性を探る(再掲)**

近年、災害や人口減、市町村合併などの社会変動の中で、民俗資料の価値が十分理解されないまま廃棄されてしまうという事例が増えている。一方、学校教育の場では、民具が「昔の暮らし」を体験するために活用され、地域活性化や観光の場では、祭りや民俗芸能などが活用される事例も多くなっている。また、写真・映像による研究が進展し、従来対象とされなかった資料への民俗学的アプローチなども見られるようになった。このことから、「民俗資料の『発見』と新たな『活用』可能性を探る」のテーマにより、民俗資料への新しい向き合い方について、東北各県の民俗学研究会の会員が報告を行い、会場も交えて意見交換を行う。



1. 日 程：平成29年11月25日(土) 12:30～16:45

2. 場 所：弘前大学人文社会科学部 多目的ホール

3. 主 催：青森県民俗の会, 弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター



4. 後 援：青森県教育委員会，弘前市教育委員会，三沢市教育委員会  
東奥日報社，陸奥新報社，デーリー東北新聞社
5. 対 象：100名  
【一般の方，行政関係者（教育・観光・地域活性化等の担当者），学生】
6. 参 加 料：無料
7. 申 込 み：不要・当日の参加可能
8. 問い合わせ先：弘前大学人文社会科学部地域未来創生センター  
住所：弘前市文京町1番地 電話：0172-39-3198（平日10:15～17:00）  
E-mail：[irrc@hirosaki-u.ac.jp](mailto:irrc@hirosaki-u.ac.jp)

9. プログラム：

【フォーラム】 12：30～16:45

司会 山田 厳子（総合）小池 淳一（フォーラム）

12：30～ 【開会の挨拶・趣旨説明】 青森県民俗の会 代表 古川 実

12：35～ 【発 表】東北6県研究会による発表

～休 憩～

15：20～ 【意見交換】

16：45 【閉会の挨拶】地域未来創生センター長 李 永俊

【同時開催】 10：00～17:00 旧小川原湖民俗博物館旧蔵資料展示（1階演習室）

**平成29年度FD委員会講演会のお知らせ（再掲）**

日本の大学は，高大接続，入試改革，大学の統廃合等，様々な課題に直面する時代を迎えようとしています。これらの課題への備えとして，保健学研究科FD委員会では，「これからの大学に求められるもの」をテーマにした講演会の開催を企画しました。講師に，昨年の講演会が大好評であった小林浩先生を再びお迎えすることになりました。

私達の将来について“心構え”を持つために，小林先生の丁寧でわかりやすい講演に，ぜひお気軽にお越し下さい。

日時：平成29年12月4日（月） 18：00～19：40

会場：弘前大学大学院保健学研究科 E棟6階 第63講義室

演題：これからの大学に求められるもの

対象：弘前大学教員・事務員

\*\*\*入場無料，事前の申し込みは不要です。

問い合わせ先：弘前大学大学院保健学研究科 学務グループ TEL：0172-39-5470

平成29年度FD委員会講演会  
これからの大学  
に求められるもの  
日時：12月4日（月）18：00～19：40  
場所：弘前大学大学院保健学研究科 63 講義室  
参加費無料  
事前申込不要  
講師：小林 浩氏  
リクルート進学総研所長  
「カレッジマネジメント」編集長  
◇プログラム◇  
17：40 開場  
18：00 開会挨拶 研究科長：木田和幸  
18：05～19：40 講演（質疑応答含む）  
【主催】弘前大学大学院保健学研究科FD委員会

**講師略歴**

株式会社リクルート入社後，グループ統括業務を担当，「ケイコとマナブ」企画業務を担当。経済同友会に出向し，教育政策提言の策定にかかわる。その後，経営企画室，会長秘書，特別顧問政策秘書などを経て，文部科学省「熟議に基づく政策形成の在り方に関する懇談会」委員（2009年～2011年），文部科学省「大学ポートレート（仮称）準備委員会」委員（2012年～2014年），文部科学省中央教育審議会高大接続特別部会臨時委員（2012年～2014年），文部科学省中央教育審議会大学分科会大学教育部会短期大学ワーキンググループ臨時委員（2013年～2014年），文部科学省専修学校生への経済的支援の在り方に関する検討会委員（2014年～），文部科学省高大接続システム改

革会議委員（2015年～2016年），文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会専門委員（2016年～2017年），文部科学省「これからの専修学校教育の振興のあり方検討会議」委員（2016年～2017年）等，数々の委員を歴任している。

### 情報処理学会東北支部研究講演会のお知らせ（再掲）

【日時】2017年12月6日（水） 14:20～15:50

【場所】弘前大学理工学部1号館 第10番講義室

【講師】湯浅 哲也 先生（山形大学教授）

【題目】「新しい原理に基づくX線CT：乳がんの早期診断を目指して」

【主催】情報処理学会 東北支部

【共催】弘前大学 理工学部 電子情報工学科

【要旨】現在の医療においてX線CTは不可欠な診断ツールである。しかし，X線は低原子番号からなる物質に対してはほとんど透過してしまうため，生体軟組織はほとんどコントラストを生じない。一方，乳癌の早期発見には軟組織の描出が欠かせない。ここでは，軟組織を描出するためのX線の屈折現象に基づくCT技術を紹介する。装置の概要と得られたデータから画像を生成するためのデータ処理法について述べる。

【対象】 学生・教職員，どなたでも参加できます。

問合せ先：長瀬 智行

〒036-8561 青森県弘前 市文京町3

弘前大学理工学部電子情報工学科

電話番号0172-39-3632，FAX番号0172-39-3632

E-mail: [ipsj-hiro@eit.hirosaki-u.ac.jp](mailto:ipsj-hiro@eit.hirosaki-u.ac.jp)

### 平成29年度「研究リーダー力向上支援セミナー」の開催のお知らせ（再掲）

文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）の一環として，補助事業連携機関や地域の教育研究機関・企業等における女性研究者の研究リーダーの資質・能力向上を目的とした「研究リーダー力向上支援セミナー」を開催いたします。講師は昨年度好評につき，今年度も慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科 講師の富田欣和先生をお招きし，「組織内オープンイノベーションを促進するプロジェクトマネジメント」についてご講義をいただきます。お気軽にご参加ください。

#### 記

◇日時：平成29年12月15日（金）14:20～15:50

◇会場：弘前大学創立50周年記念会館2階 岩木ホール

◇講師：富田 欣和 先生

（慶応義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科講師）

◇参加費：無料

◇対象：事業連携・参加機関の他，関係機関・企業等の女性研究者・技術者・大学院生など

平成29年度 文部科学省科学技術人材育成費補助事業ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ（牽引型）ダイバーシティ実現で東北北の未来を先導

## 研究リーダー力向上支援セミナー

【日時】平成29年12月15日（金）14:20～15:50

【会場】弘前大学創立50周年記念会館2階 岩木ホール

【講師】「組織内オープンイノベーションを促進するプロジェクトマネジメント」

【参加費】無料

【対象】事業連携・参加機関の他，関係機関・企業等の女性研究者・技術者・大学院生など

【お問い合わせ先】長瀬 智行 [ipsj-hiro@eit.hirosaki-u.ac.jp](mailto:ipsj-hiro@eit.hirosaki-u.ac.jp)

※分野・性別を問わず参加できます。

※連携機関：岩手大学，八戸工業高等専門学校，一関工業高等専門学校，農研機構東北農業研究センター，株式会社ミクニ

※参加機関：あおもりダイバーシティ研究環境推進ネットワーク，いわて女性研究者支援ネットワーク

◇定員：先着50名

◇申込：12月8日（金）までに，件名を「12/15セミナー参加希望」とし，

①名前，②所属，③役職（学年の場合は学年），④連絡先（メールアドレスと電話番号）を添えてメールまたはファックスで事前に申し込んでください。定員に余裕がある場合は，当日参加も歓迎します。申込時にいただいた情報は，本事業以外に使用しません。

◇主催：弘前大学，北東北ダイバーシティ研究環境実現推進会議

◇参照URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/5373.html>

◇申込先：弘前大学男女共同参画推進室

TEL：0172-39-3888/FAX:0172-39-3889

Email：[equality@hirosaki-u.ac.jp](mailto:equality@hirosaki-u.ac.jp)

URL：<http://www.equ.hirosaki-u.ac.jp/equality/>

### 第11回弘大病院がん診療市民公開講座開催のお知らせ（再掲）

弘前大学医学部附属病院が主催で，一般市民を対象に公開講座を開催いたします。

肺がん，血液がんについて，専門家がそれぞれの立場から市民の皆様にわかりやすく講演いたします。講演後には質疑応答の時間を設けております。

1. 日 時	平成29年12月17日（日）13：00～15：30
2. 場 所	弘前市民会館 大会議室 弘前市大字下白銀町1番地6
3. 内 容	演題1 進歩する肺がん薬物療法 ～個別化治療，免疫療法を中心に～ 演題2 血液がんのいろいろ
4. 対 象	一般市民
5. 入 場 料	無料
6. 事前申込	不要
7. 問い合わせ先	弘前大学医学部附属病院がん相談支援センター TEL：0172-39-5174（直通）



### 弘前大学資料館第17回企画展について（再掲）

弘前大学資料館では第17回企画展「被災地と向き合う ―文化財レスキューの取り組み―」を10月28日より12月16日まで開催いたします。

平成29年4月，弘前大学人文社会科学部と国立歴史民俗博物館は教育研究連携協定を結びました。この協定にもとづき，両者は協力して教育研究に携わっていくこととなりました。

今回は、その事業の一環として、弘前大学人文社会科学部と国立歴史民俗博物館を拠点とする研究ユニット「地域における歴史文化研究拠点の構築〔人間文化研究機構広領域連携型基幹研究プロジェクト「日本列島における地域社会変貌・災害からの地域文化の再構築」〕が被災地で取り組んできた文化財レスキューやボランティアの活動を紹介します、あわせて被災地の生活文化を紹介します。

みなさまのご来館をお待ちしております。

○弘前大学資料館第17回企画展

「被災地と向き合う ―文化財レスキューの取り組み―」

会 期：2017年10月28日（土）～12月16日（土）

（日・祝・休日は休館）

※10月29日（日）は総合文化祭の為、特別開館いたします

時 間：10：00～16：00

場 所：弘前大学資料館

本件問い合わせ先

・弘前大学資料館

電話：0172-39-3432 E-mail：[jm3432@hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3432@hirosaki-u.ac.jp)

・弘前大学人文社会科学部 地域未来創生センター

電話：0172-39-3198 E-mail：[irrc@hirosaki-u.ac.jp](mailto:irrc@hirosaki-u.ac.jp)



**学 内 掲 示 板**

**国立大学協会情報誌「国立大学」について**

本学が会員となっている「一般社団法人 国立大学協会」では、各国立大学の現状や優れた取り組みなどを分かりやすくまとめた国立大学協会情報誌「国立大学」を作成しています。

「国立大学第45号」では、「今、学生は！」において、本学・人文学部金融論ゼミ「日銀グランプリ」2年連続決勝進出の快挙が紹介されています。ぜひご覧ください。

(本学関連記事掲載) 最新号「国立大学第46号」  
<http://www.janu.jp/report/koho/46gou.html>

(本学関連記事掲載) 第45号「国立大学第45号」  
<http://www.janu.jp/report/koho/45gou.html>

下記URLより最新号を含め、今まで発行されたバックナンバーをご覧ください。  
<http://www.janu.jp/report/>

その他、第43号・第39号・第36号・第31号・第28号等において、本学記事が掲載されていますのでご覧ください。

編集担当から：講演会、研究発表会、部局行事等の掲載原稿を発行予定日（毎月1日と16日の2回）の7日程度前までに、下記担当にご提供ください。お待ちしております。  
◎担当：総務部総務広報課 広報グループ  
E-mail：[jm3012@hirosaki-u.ac.jp](mailto:jm3012@hirosaki-u.ac.jp) FAX:37-6594 内線：3029